

00. はじめに

高校までの学習(「生徒」としての学習)と大学での学修(「学生」としての学修)は、何が違うのだろうか?

→自分なりの考えを書き出してみましょう!

0. 講義をはじめるにあたっての注意

講義の時間帯:月曜日1時限(08:40~10:10)

講義の場所:講義棟2号館・大ホール(予定)

▽講義担当者の予定

04/07	辻原(地域環境調整工学 担当)
04/14, 04/21, 04/28, 05/12, 05/19	佐藤 哲 先生(建築計画学 担当)
05/26, 06/02, 06/09, 06/16, 06/23	鄭 一止 先生(都市計画学 担当, とりまとめ役)
06/30, 07/07, 07/14, 07/28	南部 恭広 先生(居住空間木質構造学 担当)

注1)上記の担当者と日程は、現時点での予定です。何らかの事情で変更になる可能性もありますので、注意してください。

注2)この科目は、**他の科目と異なり**、オムニバス形式(1人ではなく、4人での分担)で行われます。それぞれの教員ごとに行った評価を集計したものが最終評価になると思われますので、履修の際には十分注意してください。試験の実施時期やレポートの提出や成績の評価については、各教員の指示に従ってください。

注3)授業の形式(対面授業(普通に教室で行う授業)、もしくは遠隔授業(インターネットなどを活用した授業))については、担当教員の指示に従ってください。

辻原担当分についての質問などは、下記の担当者まで

教授・辻原万規彦

部屋:環境共生学部西棟(旧棟)4階南西角

電話:096-321-6706(直通),もしくは383-2929(内線492)

e-mail:m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

辻原が不在の際は、下記まで

研究室助手・岡本孝美

部屋:環境共生学部西棟(旧棟)3階南西角・栗原研究室／4階中央・岡本助手室

電話:096-383-2929(内線482(助手室)／内線475(栗原研究室))

e-mail:okamoto@pu-kumamoto.ac.jp

1. 居住環境へのアプローチ

(1)「居住環境」とは何？

「居住環境」と聞くと、どんなイメージをもつだろうか？

→自分なりの考えを書き出してみよう！

私達の生活の基本は「衣・食・住」といわれる。

「衣」では、どこでどんなことを学んだであろうか。どこから情報を得るだろうか。どんなことを知っているだろうか。

→自分なりの考えを書き出してみよう!

「食」では、どこでどんなことを学んだであろうか。どこから情報を得るだろうか。どんなことを知っているだろうか。

→自分なりの考えを書き出してみよう!

「住」では、どこでどんなことを学んだであろうか。どこから情報を得るだろうか。どんなことを知っているだろうか。

→自分なりの考えを書き出してみよう!

※「居住環境学専攻」と

「環境資源学専攻」と「食健康環境学専攻」には、どのような関係がありそうだろうか?

→自分なりの考えを書き出してみよう!

(2) 辻原の考える「居住環境」

居住環境=私たちの意識や行動に何らかの作用を及ぼすと同時に、私たちの意識や行動によって何らかの作用を及ぼされている、 や私たちの をとりまく
 のこと

→下の図2を参照

(3) 「居住環境」を、どう理解すればよいのか？

・「居住環境」の中身を、もう少し細かく見ると、どうなるだろうか？

・「居住環境」の中身を、小さく分割すれば、何とか理解できないだろうか？

→大きすぎて理解しにくい時は、わかるところまで(知っているところまで)細かく分割してみるという方法は意外に便利

(4) 私たちを取り巻く「環境」をどのように捉えるか？(分けられるか？)(図1を参照)

└─社会環境= と の 作用(人間の気持ち, 心理, 意識など)

└─物理的環境=人間と との相互作用((), (+), ,
 など)

└─ 環境

└─人間が手を加えた 環境

※構築環境: 自然環境に人為的な造成を加えてつくり出された環境

→環境には多様な面がある! 多様な捉え方がある!

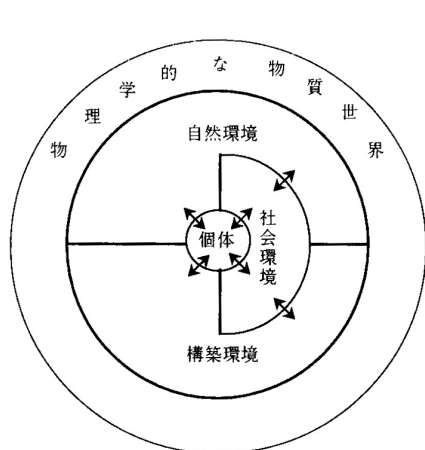


図1 環境の概念図

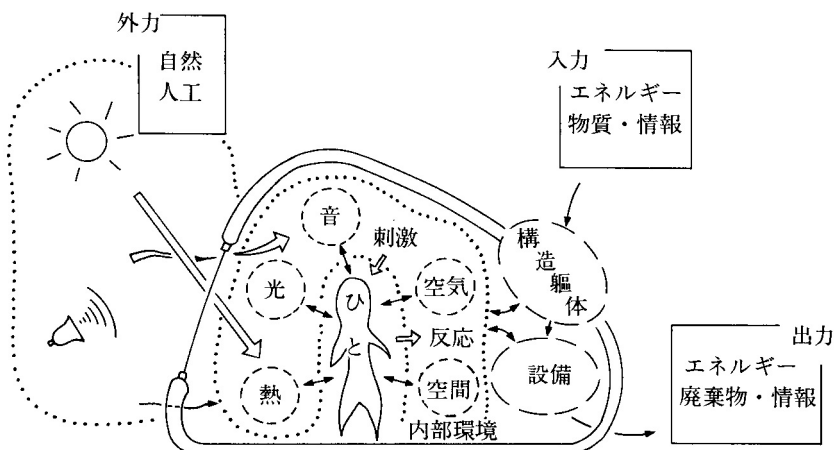


図2 住まいを中心とする環境と人間の相互作用

⇒別の捉え方をすれば、「環境」は、次のようにも分けられる。

└── _____ スケールの違い(身体のまわり, 部屋, 住まい, 町内, 都市, 地域……)

| ※特に住まいの内部(_____ 環境)と住まいの外部(_____ 環境)に分けることが多い。

|

└── _____ レンジの違い(ある瞬間, 1日, 1週間, 1年, 数年, 生涯……)

※連続的で均質な等間隔目盛りの _____ な時間の概念と私たちの感じる(_____ する)
時間の概念は異なる。

※※実は, いろいろな分け方がある。分け方一つではない。自分の身の回りを想像してみよう。

最後に, もう一つ考えて欲しいこと!

⇨われわれを取り巻く環境は, 本当によい環境なのか?

例えば, 皆さんの自宅の居室は, 居心地がよくて, 満足しているから, よい環境なのだろうか?

「現状の環境に満足している」=「現状の環境はよい」と言っても良いのか?

よい環境を知らないから, 現状に満足しているだけなのかもしれないのではないかな?

2. レポート・論文の書き方

レポートは, 人に読んでもらうためのものです。したがって, 自分で何を書いているのかわからないようなレポートは提出しないでください。レポートには必ず「読む人」がいます。レポートの評価を行うのは, 「読む人」です。書き手が評価を行うものではありません。

まず, 第一に, 「読む人」に理解してもらえるように, わかるように, 書くことを心がけてください。

→さらに一歩踏み込んで, 「読む人」を納得させるためには, どのようなレポートを書けばいいのか, を考えてレポートを作成するように心がけてください。

→→レポートは, 高校までの(読書)感想文とは全く違います。主観的な文章ではなく, 客観的に筋道が示されている文章にしましょう。

※まずは, (パソコンを使って) 長めの文章を書く練習から始めましょう。

『文字を読む。文字を書く。』状態から, 『**文章**を読む。**文章**を書く。』状態へ
社会に出る前に, しっかり身につけましょう!!

熊本県立大学図書館

(<https://www.lib.pu-kumamoto.ac.jp/drupal/>)の『通常検索』で、「論文作法」をキーワードとして検索すると、論文やレポートを書く際に参考となる様々な本がでてきますので、参考にしてください。

→図書館の1階の展示コーナーである「大学生活・レポート・就職活動 応援コーナー」の一部に「レポート入門編」と「レポート・卒論」の棚があります。是非参考にしてください。

熊本県立大学図書館に所蔵されている本や辻原の知っている範囲では、例えば、以下のような本を、読んでみては如何でしょうか。

【入門編-学生生活の基本と共に】

- 1) 『スタディスキルズ・トレーニング 大学で学ぶための 25 のスキル[改訂版]』(吉原恵子・間瀬泰直・冨江英俊・小針誠, 実教出版, 2017 年9月, 1,200 円+税, ISBN:978-4-407-34061-7) [就活・レポート(1F), 377.15||Y 87, 0000379748]
→初版(2011 年6月発行, ISBN:978-4-407-32243-9)は[和書(2F), 377.15||Y 87, 0000342518]
- 2) 『レポート論文の Start Line 書ける自分を作る』(居駒永幸・畑中基紀・岡崎直也・斎藤静隆・永野宏志編, おうふう(出版社は廃業), 2012 年10月, 1,500 円+税, ISBN:978-4-273-03706-2) [就活・レポート(1F), 816.5||I 37, 0000371521]
- 3) 『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ 第5版』(学習技術研究会編著, くろしお出版, 2019 年4月, 1,800 円+税, ISBN:978-4-87424-789-1) [就活・レポート(1F), 377.15||G 16, 0000383251]
→第4版は(2015 年4月発行)は[和書(2F), 377.15||G 16, 0000375698]
→第3版は(2011 年4月発行)は[和書(2F), 377.15||G 16, 0000350312]
→改訂版第4刷(2008 年4月発行)は[和書(2F), 377.15||G 16, 0000327677]
→改訂版(2006年10月発行)は[書庫(4F), 377.15||G 16, 0000311457]
→初版(2002年4月発行)は[和書(2F), 377.15||G 16, 0000261688] [書庫(4F), 377.15||G 16, 0000261864]
- 4) 『広げる知の世界 大学でのまなびのレッスン』(北尾謙治ほか, ひつじ書房, 2005 年5月, 1,600 円+税, ISBN:4-89476-242-0) [和書(2F), 377.15||Ki 71, 0000293704]
- 5) 『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法 改訂第2版』(松本茂・河野哲也, 玉川大学出版部, 2015 年3月, 1,500 円+税, ISBN:978-4-472-40513-6) [就活・レポート(1F), 002.7||Ma 81, 0000393674] [シラバス文学(3F), 002.7||Ma 81, 0000366076]
→初版(2007 年3月発行)は[和書(2F), 002.7||Ma 81, 0000309779]

- 6) 『情報と知識の海-現代を航海するための 知のナビゲーター』(中澤務・森貴史・本村康哲編, くろしお出版, 2007年4月, 1,800円+税, ISBN: 4-87424-372-5) [和書(2F), 377.15||N 46, 0000309780]
- 7) 『理系学部合格したら読む本』(井手弘人・内藤克浩・根本泰雄, 化学同人, 2007年5月, 1,200円+税, ISBN: 978-4-7598-1097-4) [和書(2F), 377.9||I 19, 0000309778] [書庫(4F), 377.9||I 19, 0000306485]

【基礎編-1年生からのレポート作成のために】

- 8) 『講談社現代新書 2498 最新版 大学生のためのレポート・論文術』(小笠原喜康, 講談社, 2018年10月, 800円+税, ISBN: 978-4-06-513502-0) [シラバス文学(3F), 080||49||2498, 0000381010]
- マンガ版もあり(『マンガでわかる大学生のためのレポート・論文術』(小笠原喜康・近藤たかし, 講談社, 2020年9月, 1,400円+税, ISBN: 978-4-06-520659-1)) [就活・レポート(1F), 816.5||O 22, 0000390227]
- 新版(講談社現代新書 2021, 2009年発行)は[書庫(4F), 080||49||2021, 0000374791]
- 初版(講談社現代新書 1603, 2002年発行)は[書庫(4F), 080||49||1603, 0000259322]
- 9) 『Word を使った 大学生のための論文作成術 思考技術・情報処理技術を書く力へ』(佐良木昌, 明石書店, 2004年10月, 1,600円+税, ISBN: 4-7503-1983-X) [書庫(4F), 816.5||Sa 69, 0000290926]
- 10) 『レポート・論文の書き方入門[第4版]』(河野哲也, 慶應義塾大学出版会, 2018年7月, 1,000円+税, ISBN: 4-7664-2527-7) [就活・レポート(1F), 816.5||Ko 76, 0000380975] [電子ブック, 5000000098]
- 第3版(2002年12月発行)は[書庫(4F), 816.5||Ko 76, 0000285910]
- 改訂版(1998年5月発行)は[書庫(4F), 816.5||Ko 76, 0000252694]
- 初版(1997年発行)は[書庫(4F), 816.5, 9000002010]

【応用編-4年生での卒業論文も視野入れて】

- 11) 『平凡社新書 991 新版 ぎりぎり合格への論文マニュアル』(山内志朗, 平凡社, 2021年11月, 880円+税, ISBN: 978-4-582-85991-1) [就活・レポート(1F), 080||H 51||991, 0000393634]
- 初版(平凡社新書 103, 2001年9月発行, ISBN: 978-4-582-85103-8)は[書庫(4F), 080||H 51||103, 0000270456]
- 12) 『NHKブックス 1272 最新版 論文の教室 レポートから卒論まで』(戸田山和久, NHK出版, 2022年1月, 1,400円+税, ISBN: 978-4-14-091272-0) [就活・レポート(1F), 816.5||To 17,

0000393500]

→第2版(新版)(NHK ブックス 1194, 2012 年8月発行, ISBN:978-4-14-091194-5)は[和書(3F), 816.5||To 17, 0000352921]

→初版(NHK ブックス 954, 2002 年 11 月発行)は[書庫(4F), 816.5||To 17, 0000276644]

13)『**大学生と大学院生のための レポート・論文の書き方 第2版**』(吉田健正, ナカニシヤ出版, 2004 年4月, 1,500 円+税, ISBN:4-88848-868-1) [和書(3F), 816.5||Y 86, 0000312379]

→初版(1997 年5月発行)は[書庫(4F), 816.5||Y 86, 0000263004]

14)『**これからレポート・卒論を書く若者のために 第2版**』(酒井聡樹, 共立出版, 2017 年7月, 1,800 円+税, ISBN:978-4-320-00598-3) [就活・レポート(1F), 816.5||Sa 29, 0000376640]

→初版(2007 年5月発行)は[書庫(4F), 816.5||Sa 29, 0000309758]

15)『**建築系学生のための卒業論文の書き方**』(山口廣・笠井芳夫・浅野平八, 井上書院, 2008 年4月, 1,800 円+税, ISBN:978-4-7530-1056-1) [和書(2F), 520.7||Y 24, 0000317372]

16)『**論文はデザインだ!**』(渡邊研司, 彰国社, 2008 年5月, 1,905 円+税, ISBN:978-4-395-24107-1) [和書(2F), 520.7||W 46, 0000317373] [書庫(4F), 520.7||W 46, 0000314903]

上記の全てに目を通す必要は全くありませんが、気に入ったものを1冊くらい手元に置いておくとうよいと思います。

その他にも、いろいろな本がありますので、大学の売店(丸善)や下記の本屋などで探してみてください。

1) 紀伊國屋書店 熊本光の森店(営業時間:10:00~21:00, 年中無休)

〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森 7-33-1 ゆめタウン光の森 2F

電話:096-233-1700

<https://store.kinokuniya.co.jp/store/kumamoto-hikari-no-mori-store/>

2) 紀伊國屋書店 熊本はません店(営業時間:10:00~21:00, 年中無休)

〒862-0965 熊本市南区田井島 1-2-1 ゆめタウンはません 3F

電話:096-377-1330

<https://store.kinokuniya.co.jp/store/kumamoto-hamasen-store/>

3) 蔦屋書店 熊本三年坂(営業時間:10:00~23:00, 元日店休)

〒860-0801 熊本市中央区安政町1-2

電話:096-212-9111 FAX:096-212-9890

<https://www.sannenzaka.jp>

4) メトロ書店 熊本本店(営業時間:10:00~21:00(月~木は 20:00))

〒860-0047 熊本市西区春日 3 丁目 15-26 アミュプラザくまもと 6F(JR 熊本駅ビル)

電話:096-351-4646 FAX:096-288-5976

<https://metrobooks.co.jp/mbs/pages/store/>

5) 熊本大学生協の黒髪北地区の学生会館ショップ書籍・雑誌コーナー(営業時間:09:00~18:00(土日祝休))

〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-40-1

電話:096-343-6321 FAX:096-345-8239

<https://coop.kyushu-bauc.or.jp/kumamoto-u/info01/index.html>

→「生活協同組合熊本インターカレッジコープアカデミア」も参照(生協のない大学に通う学生のための生協, 本学の学生でも加入が可)

→→<https://coop.kyushu-bauc.or.jp/in-km/index.html>

また, 下記のホームページなどが参考になるかもしれません。その他に, 自分でも, 「レポート」, 「書き方」などのキーワードで検索してみてください。大量に検索できるはずです。特に, 他の大学の図書館のサイトが確実なように思います(残念ながら本学の図書館にはまだありませんので)。

・法政大学図書館 > 調べる・探す > お役立ちサポート > レポート・論文を書くには

<https://www.hosei.ac.jp/library/kensaku/support/report/>

・立教大学図書館 > 学修・教育支援 > 利用ガイド > レポート作成ガイド(pdf ファイルで提供されているものを確認しよう)

<https://library.rikkyo.ac.jp/learning/reportguide/>

・近畿大学中央図書館 > 検索・調べる > 学修サポート

https://www.clib.kindai.ac.jp/search/study_support.html

・相模女子大学 附属図書館 > 図書館ガイダンス動画 > レポート作成ガイダンス(動画あり)

<https://www.sagami-wu.ac.jp/library/guidance/report/>

・岐阜大学 森林生態学研究室 > 大学生のための情報リテラシー(pdf ファイルで試読が可)

<https://www1.gifu-u.ac.jp/~shogo/informationliteracy/index.html>

注) これらのサイトの内容については, 自分の責任で確認してください。辻原自身が全ての内容を確認したわけではありません。